



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年10月28日

上場会社名 本多通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6826 URL <https://www.htk-jp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎尾 欣司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 水野 修 TEL 03-6853-5800
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 2021年10月28日(木)に当社ホームページに掲載します。
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 2021年10月29日(金)に当社ホームページに動画を掲載します。

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 8,666 | 29.1 | 228 | - | 195 | - | 150 | - |
| 2021年3月期第2四半期 | 6,714 | - | △238 | - | △95 | - | △65 | - |

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 158百万円 (-%) 2021年3月期第2四半期 △43百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 6.51 | - |
| 2021年3月期第2四半期 | △2.86 | - |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。これにより、2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 15,063 | 11,019 | 73.2 | 477.37 |
| 2021年3月期 | 14,505 | 11,004 | 75.9 | 477.44 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 11,019百万円 2021年3月期 11,004百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | - | 0.00 | - | 7.00 | 7.00 |
| 2022年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2022年3月期(予想) | - | - | - | 8.00 | 8.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 16,500 | 10.5 | 500 | - | 450 | 206.1 | 320 | 326.7 | 13.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期2Q | 25,006,200株 | 2021年3月期 | 25,006,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期2Q | 1,922,244株 | 2021年3月期 | 1,956,444株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期2Q | 23,064,413株 | 2021年3月期2Q | 23,037,598株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

10月28日に四半期決算補足説明資料を当社ホームページに掲載します。また、四半期決算説明の動画を10月29日に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

上期(2021年4～9月)は、旺盛な需要を背景に回復・拡大基調が継続し、売上高は86億66百万円と前年同期(29.1%増)および前年下期(以下、前期、6.4%増)を上回りました。営業利益は2億28百万円(前期比40%増)と回復傾向も、品種構成や強まるコストプッシュ要因により回復幅はもう一步でした。経常利益は営業外損益で補助金収入があった一方、パーツ安により為替差損が発生し1億95百万円(前期比19%減)、純利益は1億50百万円(前期比7%増)となりました。

足元の状況は、需要は引き続き良好で回復・拡大基調は継続しており、受注残は2000年以降最高額まで積みあがっています。一方で、部品不足や人手不足などによる世界的なサプライチェーンの混乱により不透明感が強まっています。このような状況下において、下期は生産拡大を図るとともに、利益率の改善に向けた合理化および価格転嫁、また中長期の成長に向けた新商品の開発に取り組みます。

なお、来年4月に予定されている東京証券取引所の市場区分の見直しについて、当社はプライム市場に移行することを決議しました。当社はプライムの上場維持基準の内、流通株式時価総額と売買代金の項目が基準を充たしていないことから「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出しています。プライム市場の上場維持基準に適合するよう、中期目標(売上高200億円、営業利益16億円、ROE8.0%以上)水準への業績拡大や株式施策、IR活動の強化に取り組み、流通株式時価総額および売買代金の向上に努めます。

詳細は、決算補足説明資料をご覧ください。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は150億63百万円で、前期末比5億57百万円増加しました。これは主に売上債権および棚卸資産の増加によるものです。

(負債)

負債は40億44百万円で、前期末比5億43百万円増加しました。これは主に仕入債務の増加によるものです。

(純資産)

純資産は110億19百万円で、前期末比14百万円増加しました。これは主に自己株式の減少によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は2億5百万円(前年同期は2億47百万円の得られた資金)となりました。これは主に棚卸資産の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は91百万円(前年同期は56百万円)となりました。これは主に固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は2億80百万円(前年同期は5億38百万円)となりました。これは主に配当金の支払いや借入金の返済によるものです。

以上の結果、当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は53億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億76百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日に発表しました2022年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,977 | 5,400 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,093 | 3,278 |
| 電子記録債権 | 672 | 777 |
| 商品及び製品 | 508 | 863 |
| 仕掛品 | 352 | 512 |
| 原材料及び貯蔵品 | 569 | 876 |
| その他 | 163 | 198 |
| 貸倒引当金 | △2 | △2 |
| 流動資産合計 | 11,333 | 11,905 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,140 | 2,132 |
| 無形固定資産 | 334 | 292 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 345 | 380 |
| その他 | 355 | 354 |
| 貸倒引当金 | △3 | △3 |
| 投資その他の資産合計 | 697 | 732 |
| 固定資産合計 | 3,172 | 3,157 |
| 資産合計 | 14,505 | 15,063 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,013 | 1,131 |
| 電子記録債務 | 638 | 933 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 115 | 115 |
| リース債務 | 75 | 68 |
| 未払金 | 337 | 493 |
| 未払法人税等 | 39 | 95 |
| 賞与引当金 | 325 | 354 |
| 役員賞与引当金 | 33 | 18 |
| 営業外電子記録債務 | 47 | 34 |
| その他 | 258 | 251 |
| 流動負債合計 | 2,884 | 3,498 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 142 | 84 |
| リース債務 | 82 | 57 |
| 退職給付に係る負債 | 375 | 386 |
| その他 | 17 | 17 |
| 固定負債合計 | 616 | 546 |
| 負債合計 | 3,501 | 4,044 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,501 | 1,501 |
| 資本剰余金 | 1,540 | 1,544 |
| 利益剰余金 | 8,696 | 8,685 |
| 自己株式 | △736 | △724 |
| 株主資本合計 | 11,001 | 11,007 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | 1 | 10 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3 | 12 |
| 純資産合計 | 11,004 | 11,019 |
| 負債純資産合計 | 14,505 | 15,063 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 6,714 | 8,666 |
| 売上原価 | 5,773 | 7,187 |
| 売上総利益 | 941 | 1,479 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,179 | 1,251 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △238 | 228 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 1 | 3 |
| 為替差益 | 8 | — |
| 補助金収入 | 132 | 51 |
| その他 | 10 | 15 |
| 営業外収益合計 | 152 | 70 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5 | 4 |
| 為替差損 | — | 75 |
| 社葬関連費用 | — | 14 |
| その他 | 4 | 8 |
| 営業外費用合計 | 9 | 103 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △95 | 195 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 6 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | 10 | — |
| 特別利益合計 | 16 | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △79 | 197 |
| 法人税等 | △13 | 47 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △65 | 150 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △65 | 150 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 3 | 9 |
| その他の包括利益合計 | 21 | 8 |
| 四半期包括利益 | △43 | 158 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △43 | 158 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △79 | 197 |
| 減価償却費 | 285 | 235 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △43 | 28 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △14 | △14 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 3 | 11 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2 | △3 |
| 支払利息 | 5 | 4 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △10 | — |
| 固定資産除売却損益(△は益) | △5 | △1 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 128 | △320 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | 236 | △838 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △282 | 471 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △34 | 73 |
| 補助金収入 | △132 | △51 |
| その他 | 46 | △48 |
| 小計 | 100 | △253 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2 | 3 |
| 利息の支払額 | △6 | △4 |
| 法人税の支払額及び還付額(△は支払) | 68 | △2 |
| 事業構造改革費用の支払額 | △41 | — |
| 補助金の受取額 | 125 | 51 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 247 | △205 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △38 | △38 |
| 定期預金の払戻による収入 | 38 | 38 |
| 固定資産の取得による支出 | △56 | △91 |
| 固定資産の売却による収入 | 0 | — |
| その他 | — | 0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △56 | △91 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △52 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △43 | △59 |
| 配当金の支払額 | △478 | △161 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | 84 | — |
| リース債務の返済による支出 | △48 | △59 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △538 | △280 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4 | 1 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △343 | △576 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,538 | 5,938 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,194 | 5,361 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(会計方針の変更)

(収益認識基準に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を当第1四半期連結会計期間の期首より適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上していたレポートの一部を売上高から控除しており、当第2四半期連結累計期間の控除額は60百万円です。当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっています。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しています。

(1) 前連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと

(2) 当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に含まれる変動対価の額について、変動対価の額に関する不確実性が解消された時の金額を用いて比較情報を遡及的に修正すること

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高が35百万円、販売費及び一般管理費が35百万円減少していますが、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に変更はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。